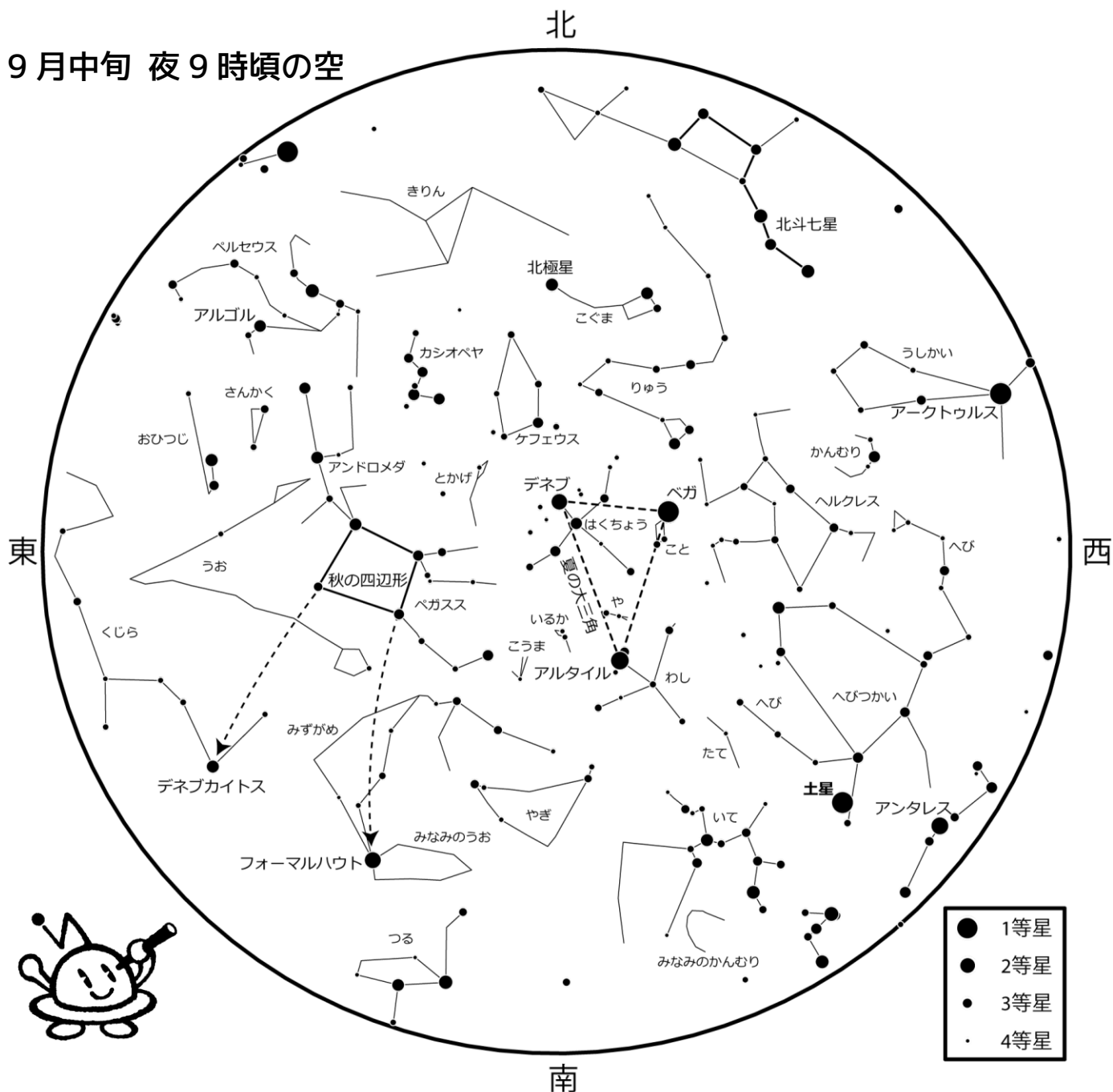


阿南市科学センター 9月の星空案内

9月中旬 夜9時頃の空



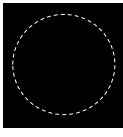



まだ暑い夏の気配が残る9月ですが、夜は心地よい虫たちの音色を BGM に、秋の星や星座を探しみるのはいかがでしょうか。東よりの空にはペガサス座が昇り、ペガサスの胴体にあたる部分は**秋の四辺形**と呼ばれ、秋の星を探す目印にもなっています。この四辺形にある西よりの一边を南の低空にのばしていくと、秋の唯一の1等星**フォーマルハウト**（みなみのうお座）を見つけることができます。一方で四辺形の東よりの一边を南の低空にのばせば、くじら座の**デネブカイトス**という2等星を見つけることができます。さらに北東の空には小学校でも学習する**カシオペヤ座**が昇り、アルファベットのWのような星の並びが目を引きまます。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

名 称	満月	下弦の月	新月	上弦の月
形 状				
見える日	9月6日	9月13日	9月20日	9月28日

◇ 惑星について

名 称	水 星	金 星	火 星	木 星	土 星
見どころ	9月中旬の夜明け前、東のごく低空で見える。	夜明け前、東の低空で見える。(明けの明星)	夜明け前、東のごく低空で見える。	日没後、西のごく低空で見える。	日没後、南よりの空で見えるが、深夜には沈む。
明るさ	約0等	約-4等	約1.5等	約-2等	約0等

◇ おすすめの天体・天文現象

【青い雪玉星雲 / NGC 7662】

青い雪玉星雲 (The Blue Snowball Nebula / NGC 7762) はアンドロメダ座で輝く**惑星状星雲**です。この天体までの距離は約 3000 光年だと考えられていますが、まだ正確にはわかっていないようです。科学センターの望遠鏡では、月明かりが無ければ雪玉のような形をした淡い光を見ることができます。

惑星状星雲とは太陽のような恒星が晩年 (赤色巨星に進化したとき) に放出したガスそのもので、中心星が放つ強い紫外線の影響を受けてガスが発光しています。なお惑星状星雲の中心にいる星はやがて地球程度のサイズにまで小さくなり、**白色矮星**と呼ばれる星の燃えカスのような天体に進化すると考えられています。

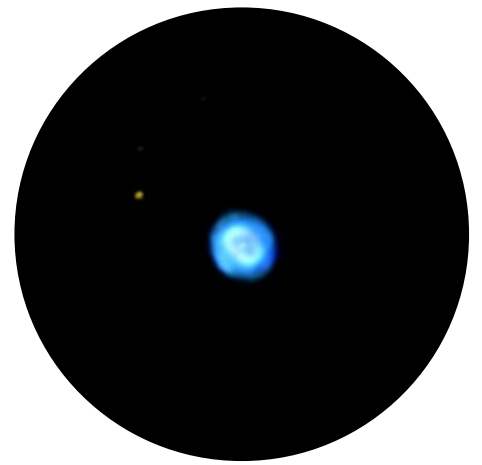


図 1: NGC 7662 (2017/08/13 撮影)

【中秋の名月を観察しよう！】

2017年の中秋の名月は10月4日(水)です。今年は満月のおよそ二日前のほんの少し欠けた月となります(月齢約14)。中秋とは旧暦の8月15日をさし、その日に出るお月様のことを**中秋の名月**と呼んでいます。中秋の名月を楽しむ文化は唐の時代から中国で行われ、9世紀ごろ日本に伝わったと言われています。なお科学センターでは10月4日(水)に中秋の名月の観察会を行う予定です。スマートフォンで月の撮影ができるコーナーも設ける予定なので、是非遊びにいらしてください(詳細はホームページか科学センターだより秋号をご覧ください)。



図 2: 月齢 14 の月